

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本  
科目コード:130024

## 診療補助技術論 I Medical care assistance I

担当教員	石井和美、石川倫子、寺井梨恵子、田村幸恵、瀬戸清華、千田明日香、橋本知奈、酒井麻衣										
実務経験	担当教員全員が看護師としての病院実務経験があり、その経験を活かして診療補助技術に関する知識・技術を教授する。										
開講年次	2年次前期	単位数	1			授業形態	講義・演習				
必修・選択	必修	時間数	15								
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	○	(4)	(5)	(6)			
Keywords	診療補助技術、検査・与薬、安全・安楽										
学習目的・目標	【学修目的】 対象者が診察、検査、治療を安全・安楽に受けられるための基礎知識と確かな援助方法を身に付けることを目的とする。 【学修目標】 1. 与薬の目的と看護師の役割を理解できる 2. 注射薬剤の準備と投与が実施できる 3. 診察・検査場面における看護師の役割を理解できる 4. 検査の目的と適応を理解し、必要な援助が実施できる 5. 診察、検査・処置を受ける患者の心理について考察できる										
授業計画・内容											
回	内容										
1-5	1. 与薬の技術 1) 与薬の目的と看護師の役割 2) 薬剤の剤型と特徴、薬剤の管理方法 3) 投与方法(内服、外用、注射) 4) 筋肉内注射における援助の実際										
6-8	2. 診察・検査時の援助技術 1) 診察・検査場面における看護師の役割 2) 検査の種類と方法 3) 静脈血採血における援助の実際										
教科書	茂野香おる編:系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学② 基礎看護学技術 I, 医学書院 任和子編:系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学③ 基礎看護学技術 II, 医学書院 任和子, 秋山智弥編:根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術(第4版)、医学書院										
参考図書等											
評価方法・基準	課題内容と提出状況10%と、筆記試験90%で評価する。										
関連科目	解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養、人間病態学、人間病態学演習、疾病・障害論、薬理学、フィジカルアセスメント、基礎看護学実習 II										
教員から学生へのメッセージ	解剖生理学、代謝・栄養、薬理学、フィジカルアセスメントなど、すでに学んだ知識の活用が必要となる科目です。そのため、既習知識の復習などの事前学習をしっかりと行って受講してください。対象者にとって不安・苦痛、羞恥心、合併症など身体侵襲を伴う看護技術です。技術の原理・原則だけでなく、対象者への心理的・身体的影響を理解した倫理的配慮(より良い看護)ができる力を身に付けていきましょう。										